

辻プラスチック株式会社

滋賀県東近江市

需要獲得
ものづくり

下請けで培った技術で新分野に事業展開 現地人材の積極活用でアフリカ事業を加速

祖業であるプラスチック成形で培った高い技術力を活かしフレーム事業、ソーラー事業を展開。特に1999年設立したソーラー事業部では2001年に夜間の安全対策商品である道路鋸の販売を皮切りに、太陽光発電から受電した電気
で直接機器を駆動できる仕組みを実現させた。2016年にはケニアで開催されたアフリカ開発会議でプレゼンをしたことをきっかけに、アフリカビジネスを開始、ニジェールやセネガルをはじめアフリカの複数国でも事業展開を進めている。

所在地 滋賀県東近江市五個荘奥町160
電話/FAX 0748-48-2206 / 0748-48-2720
URL <https://www.tsuji-pla.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 辻 清嗣

設立 1988年
資本金 1,000万円
従業員数 31人



長年培った技術と外部リソースの活用によりソーラー技術を確立

社会課題解決につながる高品質なものづくりを経営方針とし、射出成形の下請けで培った技術力を活かし、顧客のニーズに応じた新分野の製品開発に注力した、同社製品を主力とした事業に転換させた。大学との共同研究や支援機関の活用により既存製品では難しかった、太陽光発電から受電した電気を鉛電池やリチウム電池等に蓄電することなく直接電気機器を駆動できる仕組みを実現。電気のない環境であっても、太陽光発電との簡易な組み合わせによって容易に電力を得る技術を確立させた。



ソーラー技術によるセンターライン鋸

アフリカでサブスクリプション方式により事業を展開、現地の課題を解決

アフリカ開発会議でのプレゼンをきっかけに途上国におけるニーズを知り課題解決を決意、確立したソーラー技術を活かして耐久性が非常に高いソーラー充電器とソーラーポンプシステムを開発、アフリカでサブスクリプション方式での事業を開始した。現地の事業者の負担が少ないビジネスモデルを構築し、電力のない地域に安価な価格で供給することで持続性の高い事業を目指す。現在ニジェールとセネガルに販売拠点を設立し、マラウィ、ウガンダ、ブルキナファソ等での展開を進めている。



ニジェールでの充電器貸し出し事業

現地人材の活用により現地ニーズを的確に捉えてアフリカ事業を加速

アフリカ事業はケニアのODA事業での製品導入、タンザニアでのJICAの案件化調査事業を契機に加速。青年海外協力隊でアフリカに赴任経験のある人材の採用に加え、日本の大学院に留学中のアフリカ人を3年間で約20名をインターンシップで受け入れるなど、市場調査や現地ニーズにマッチした製品開発を共同で実施している。同社に共感した留学生は多く、技術を学んだ留学生の一部が現地で起業し、同社製品の販路開拓に取り組むなど現地人材の活用は卓越している。



ウガンダでの住民への説明の様子

需要獲得

ものづくり